

## Column

Yumiko

森上由美子 (大阪)  
海外旅行と食べる事が好きな根っからの大阪人。ペルー、香港、ネパール、イタリア...どこでも出沒。

## 世界のカフェ紹介!

後ろに立って聴く。飲み物もないぎゅうぎゅう詰めのホールで8ドル払って30分くらい聴くのだが、これぞジャズの発祥地という気分が味わえるのでお勧めである。

さて、本題のカフェの話へ。1862年にできたカフェ・デュ・モンドの名物は、ベニエという穴の開いてない四角いドーナツで、日本で食べるドーナツよりも軽い。外はサクサク、中はフワフワしていて、上には粉砂糖が山ほどかかっている。よほど甘いのだろうと思って食べてみたところ、ベニエのものには甘さがほとんどなく、3個くらいは平気で食べられた。しかも揚げたてなので味は最高だった。この店のもう一つの名物はチコリと言うタンポポと同じ種類の植物が入ったカフェオレ。一体どんな味がするのかとドキドキしながら飲んでみたが、普通のコーヒーとそれほど変わらなかった。

このカフェは24時間営業で、朝の早い時間やティータイムにはとても賑わっている。オープンカフェに座ってニューオリンズの風を感じながら、美味しいベニエとカフェオレを楽しむために毎日通っていた。また食べたくなる味なのだ。



カフェ・デュ・モンドの店内



なんと四角いドーナツ!

### ニューオリンズのカフェ

アメリカ南部の都市、ニューオリンズと聞いて私がすぐに思い浮かべるのは、まだ記憶に新しいハリケーン「カトリーナ」だ。ニューオリンズには海拔-2mと低い土地もあり、そのような地域では水没から逃れるために多くの市民が避難した。私を訪れたのは2007年3月で、被災から二年も経っていたにもかかわらず、いまだに繁華街にはつぶれたお店や空き店舗が目立った。バスに乗って住宅街も通ったのだが、倒壊したままの家屋や空き家も多く、ニューオリンズの辛い一面を目の当たりにした。完全な復興にはまだまだ遠いようだ。

ここでの観光と言えばミシシッピ川のクルーズで、中にはなんとワニを見られるクルーズもある。しかし、ニューオリンズに来たら何といってもジャズだろう。ここはジャズ発祥の地なのだ。夜のバーボンストリートを歩けばそこらじゅうのライブハウスから、その開放された窓を通じてジャズやロックの生演奏が流れてくる。中に入らなくてもジャズを楽しめるくらいだ。私が気に入って毎日出かけたのは、「ブリザベーションホール」という1817年にできた古いホール。ホールといっても中はとても小さく、客席は木のベンチで、座りきれない人は

## オススメCD!

DJ Nobuki

Disknote盛岡 岩淵信毅  
DJ BARDAI (盛岡) にて活躍中  
Black Musicを中心に回している  
www.disknote.com (Disknote)  
www.djbardai.com (DJ BAR DAI)



GIL EVANS / Live At Sweet Basil

雪積もるこの季節に聴きたい一枚をご紹介。ユダヤ系カナダ人として生まれ、名ピアニスト、アレンジャーとしてマイルス等の作品に大きく貢献し、マジカルなセンスで音楽を探求し続けた巨匠ギル・エヴァンス。1984年、既に70歳を超えていた彼の晩年に夜な夜なNYで集めたMONDAY NIGHT ORCHESTRAでの名ライブ。日本人がいち早く録音&作品化。未知なる即興の境地を求めて集まった面子全員が、自由に個々の世界観を發揮し合いそれをギルがまとめている、シンクロした正にクロスオーバーな名演奏。モンクやジミヘンのカバーに至る多彩で味わい深い構成。アルバムの最後を飾る“Snowflake Bop”では、精神面での熱狂も伝わる感動的な音の結晶を味わえるでしょう。

## Information

### クイズ「雪だるまはの数？」

深夜0時、Free Tempo! の編集員が集まって、明後日9時から始まる雪まつりの雪だるまを作っています。頭、胴体、顔、手のパーツが揃うと雪だるまが一体できます。

「俺は4時間で7つの頭を作る！」

「私は1時間に8個、顔のパーツを作るわ！」

「自分は3時間で4つ胴体を作るっす！」

「僕は30分に1組の手をつくります！」

開催1時間前までに、雪だるまは何体できるでしょう?

(答えは右下にあります。)

出題: 佐々木正人 (編集部)

解: 5

### WEB版Free Tempo! もお楽しみに!

新コラム続々登場! [www.free-tempo.com](http://www.free-tempo.com)

誌面のPDF版もダウンロードできます。



デジタル・マガジン総合ウェブサイト  
「デジマガ powered by ホビダス」で  
Free Tempo! の最新号が読めます。  
URL: <http://dgmag.hobidas.com/>

2008年2月発行 VOL. 13 (隔月刊、偶数月1日発行)

【編集・発行】Free Tempo! Project

editor@free-tempo.com

Free-Tempo! はFree Tempo Projectの登録商標です。

※本誌掲載の記事、写真などの無断転載、複写を禁じます。

# Free Tempo!

2008  
February - March Vol.13

## Feature

癒される灯りづくり

## Column

良かったこと!

恋愛英会話

心理テスト

世界のカフェ紹介

オススメCD

<http://www.free-tempo.com>

FREE Magazine for every coffee lover!

Place: Kiruna, Sweden